

『伝記漫画 三浦綾子』刊行記念

チャペルde文学サロン

〈恋×罪×信仰〉三浦文学を語り尽くす



2026年 **5月22日(金)**
18:30～20:00(開場18:00)

同志社大学・今出川キャンパス
同志社礼拝堂(今出川駅から徒歩5分)

入場無料/定員100名
〈同時開催〉漫画パネル展

主催

JBS 一般財団法人 日本聖書協会 (直営書店)

バイブルハウス京都 [外販専門書店]

☎ 090-5138-7020 / E-mail. kyoto-jbs@bible.or.jp

協力

三浦綾子文学記念館

北海道旭川市神楽7条8丁目2-15

ウェブ申し込み

<https://miura-ayako-kyoto.peatix.com>

FAX申し込み

裏面の申込書をご利用ください

(チラシのPDFはウェブサイトからダウンロードいただけます)



〈ゲスト〉

森下辰衛 氏

三浦綾子読書会相談役/
三浦綾子記念文学館
特別研究員



〈聞き役〉

松谷信司 氏

「キリスト新聞」
雑誌「Ministry」編集長



Miura Ayako

三浦綾子

1922 - 1999

北海道旭川生れ。17歳で小学校教員となるが、敗戦後に退職。間もなく肺結核と脊椎カリエスを併発して13年間の闘病生活に入る。病床でキリスト教と出会い、クリスチャンとなる。結婚後、雑貨店を営みながら執筆した『氷点』で作家デビューを果たす。以後、旭川を拠点に作家活動。キリスト教信仰を下敷きにしながらも恋や性愛、人間の罪や正義なども描き続けた日本を代表するベストセラー作家。主な作品に『塩狩峠』『道ありき』『銃口』『泥流地帯』など。1998(平成10)年、旭川に三浦綾子記念文学館が開館。



なぜ三浦綾子はベストセラー作家になれたのか……

2026年6月刊行予定の『伝記漫画 三浦綾子』を記念し、三浦綾子の文学世界を語り合うトークイベントを開催します。病と信仰の経験から作家として歩み始めたその人生をたどりながら、代表作がどのように生み出されたのか、作品の背景や創作の源泉を探ります。また、恋や性愛、人間の罪、日本社会との葛藤など、三浦文学が描いてきた多様なテーマにも光を当てます。文学を愛する方、作家を志す方、神学に関心のある方など、だれでも参加できる文学イベントです。あわせて刊行予定の『漫画 三浦綾子』の企画背景や見どころも紹介します。

森下 辰衛 (もりした たつえ)

三浦綾子読書会相談役／三浦綾子記念文学館特別研究員
1962年岡山県生まれ。福岡女学院短大および大学で日本の近代文学やキリスト教文学などを講義。2006年、家族とともに『氷点』の舞台旭川市神楽に移住し、三浦綾子文学館特別研究員となる。現在、全国三浦綾子読書会相談役として全国で講演会や読書会の活動を展開。『伝記漫画 三浦綾子』の監修を務める。著書に『「氷点」解凍 (小学館) など。

松谷 信司 (まつたに しんじ)

「キリスト新聞」、雑誌「Ministry (ミニストリー)」編集長
1976年福島県生まれ。テレビ局勤務の後、小学校教員生活を経てキリスト新聞社に入社。「キリスト新聞」の記者としてさまざまな教派・教団の現場取材。現在、株式会社キリスト新聞社代表取締役社長。著書に『宗教改革 2.0 へ』(ころから)、『キリスト教のリアル』(ポプラ社)。

プロフィール

会場へのアクセス



同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂
〒602-0898 京都府京都市上京区相国寺門前町
京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」より徒歩約5分



『伝記漫画 三浦綾子』発行記念トークイベント 参加申込書 (FAX申込用)

※必ずお名前に「フリガナ」を振ってください。楷書でお書きください。申し込み締め切り5月18日 月
お申し込みはEメールでもお受けします。下記情報を info2@bible.or.jp までお送りください。

※折り返しのご連絡のため、TEL、FAX、Emailのいずれかを必ずご記入ください。

代表者 (フリガナ)		所属教会・団体 (フリガナ)	
電話番号	FAX	Email	
参加者 (フリガナ)	参加者 (フリガナ)	参加者 (フリガナ)	

※参加者が4名以上の場合は、別紙に全員のお名前をお書きの上、FAXでお送りください。
ご記入いただいた情報は「個人情報保護法」に基づき、当協会内で適切に使用いたします。

お問い合わせ
(日本聖書協会広報部)

FAX 03-3567-4436

TEL.03-3567-1988
Eメール: info2@bible.or.jp